

中日口译 入门教程

杨承淑 编著
(日) 山田佳奈美 例句撰写

日文
解说本

5.9

外语教学与研究出版社

中日口译入门教程

(日文解说本)

杨承淑 编著

(日) 山田佳奈美 例句撰写

外语教学与研究出版社

北京

(京)新登字 155 号

图书在版编目(CIP)数据

中日口译入门教程(日文解说本)/杨承淑编著,(日)山田佳奈美例句撰写.
—北京:外语教学与研究出版社,2003.12

ISBN 7-5600-3955-3

I. 中… II. ①杨… ②山… III. 日语—口译—高等学校—教材
IV. H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2003)第 125530 号

中日口译入门教程(日文解说本)

杨承淑 编著

(日)山田佳奈美 例句撰写

* * *

责任编辑 张 溥

出版发行 外语教学与研究出版社

社 址 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址 [http //www fltrp com](http://www.fltrp.com)

印 刷: 北京京科印刷有限公司

开 本: 850×1168 1/32

印 张: 6.125

版 次: 2004 年 3 月第 1 版 2004 年 3 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 7-5600-3955-3/G·1971

定 价: 17.90 元(含中、日文解说本)

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)68917519

はじめに

当初この本は、輔仁大学の学生の翻訳・通訳クラスの教科書として使用するという計画であった。そして当時私がたまたま楊先生の研究アシスタントを務めていたことから、日本語の例文作りを任せられ、この本作りに加わったのだが、この計画を知った他の大学や日中の翻訳・通訳を勉強している外部の人達から、是非自分たちにも分けて欲しいとの声が多く聞かれたため、急遽計画を変更し、一般の書店でも販売することになったのである。

この事態の発展に正直なところ私は戸惑った。というのも、中国の台湾に来て、日本語にない多くの中国語に接するたびに、また日本語を教える場面に出くわすたびに、私は自分自身の母国語である日本語に対し、疑問を感じるようになっていたからである。「母国語だからわかる」という思い込みが危険であると、少しずつ気づき始めていた。

気がつくと、私の迷いをよそに本作りの準備はどんどん進んでいた。こうなった以上、とにかくできるだけことはやってみようと思い直し、これまでに出版されている教科書なども参考にしながら例文を完成させた。そして、それらの例文を複数の先生方に見ていただき、修正してでき上がったのがこの本である。

今回、この本作りを通じて感じたことは、日本語の慣用句やニュースの表現にはある程度固定化した表現と言えるものがあるが、外来語や擬声語・擬態語は同じ日本人でも個人の感覚によって、あるいは年齢の差によって、使い方や表現に少なからず差が生じることであった。このような場合の例文は、複数の意見の中から

ら多数と思われるものを取り上げたつもりである。

「ことば」にこだわった仕事をしていきたいと思う私にとって、今回の本作りは自分の日本語を客観的に見直し、さらに新しい発見を与えてくれた貴重な体験であった。この場を借りて、こうした機会を与えてくださった楊先生に、心から感謝申し上げます。

山田佳奈美

1996年 8 月 5 日

目次

本書編集方針	1
系統 1 製作教材 (テープ1～4本)	5
外来語	6
擬声語・擬態語一覧表	30
擬声語・擬態語	32
慣用句 (諺) 例文	48
ニュースの表現	70
系統 2 生教材 (テープ5～8本)	83
単文練習	84
尊敬語練習	90
謙讓語練習	93
電話表現	96

接待の表現	103
ビジネス日本語	106
式辞・挨拶	121
ニュース	126
時の話題	134
一．《人権宣言》40周年と女性の人権	134
二．差別を生む病気への無知	141
三．アメリカのセクシャル・ハラスメント	148
附録	157
一．電話で話す	158
二．放送の言葉Q & A	167
三．ニュースの表現（例文集）	174

本書編集方針

本書は中日・日中の通訳カリキュラムの中で使用することを前提としたカセットテープ付きの教材であり、大学の日本語学科3年生以上の学生、もしくは日本語の基本文型や動詞の活用変化をすでに学んだ中級レベルの学習者を対象として、編集したものである。

1. 本書の編集目的

- (1) 同時通訳や逐次通訳の学習方法として有効なshadowing（追唱）を通して、学習者に精神を集中させ、限られた時間で、母国語話者のイントネーションやアクセント、発話や表現方法を模倣させる。
- (2) 原文を徹底的に理解した上で、自分で思考し、自分の言葉で原文の意味を伝える通訳の練習を行う。

2. 内容の構成

日本語学習者にとって、非常に有益でありながら、市販の日本語教科書ではあまり取り上げられていないものがある。例えば、学習者は辞典を使って、言葉の意味は理解しても、それがどのような状況の下で使用されるのか、その用法については、なかなか理解できないものである。また、用例はあっても、アクセントやイントネーション等の表記がないために、正確な発音で表現できないなどの悩みが付きものである。そこで本書では、カセットテープを通して、それらの問題解決に役立つよう配慮したつもりである。内容構成としては、後半の教材は前半の教材の応用・練習編として位置づけており、製作教材と生教材の2部構成となっている。

(1) 製作教材：外来語、擬態語・擬声語、慣用句、ニュースの表現の4つからなっており、以下にそれぞれの単元における学習内容やポイントを挙げたいと思う。

① 外来語：3つの基準で構成されている。

★ 熟語：外来語の原文が複数の言葉からなるもの。

(例) レベルアップ、シャットアウト

★ 分野によって用法が固定されているものを下記の記号で区別した。

● 経済・産業

◆ 職業・労働

★ その他

なお、熟語以外の用例は五十音順に配列してある。

② 擬態語・擬声語：内容によって健康、心情、評価、談話、物の様態の5項目に分類し、さらに各項目をプラスとマイナス要素に分けて、各々10種類の用語を挙げ、用語にはそれぞれ2例ずつの例文を挙げている。

③ 慣用句：慣用句として用いられる主題を分野別に分け、学習しやすいように編集してある。主題によって例文の数は5～20例となっている。

④ ニュースの表現：ニュース報道を機能的な面から冒頭表現、背景説明、内容説明、価値判断、推量、原因、理由などに分類し、学習者にそれぞれにおける定型化されたニュースの表現に慣れさせることを目的としている。

(2) 生教材：製作教材の進度と学習者の程度に合わせて、学習者が徐々にレベルアップできるように、単語

→文→文章→談話の順に編集してある。また、語彙を増やし、文型の応用や各種の談話形式などに習熟させることを狙いとしている。

生教材は基本的に製作教材と平行して学習するように編集されている。以下にその具体的な学習の順序と進め方を述べる。

① 製作教材の「外来語」と平行して学習する生教材は以下の通りである。

★単文練習：基本文型の復習を狙いとして、18文型、計60の例文を挙げてある。

★敬語練習：尊敬語と謙譲語に分けて、計80の例文を挙げている。

★電話の話し方の練習：★の敬語を応用した実際の会話練習文。

★接待時の話し方の練習：動詞の各種活用や基本文型の応用練習。

★ビジネス会話練習：動詞の各種活用や基本文型の応用練習。

② 製作教材の「擬態語・擬声語」と平行して、学習する生教材は以下の通りである。

★ニュースの表現：ニュース報道の文型、語彙、訳し方などを学習する。

★式辞・挨拶：社交儀礼のスピーチを中心に、司会者挨拶や歓送、送別、開幕式等に分けて学習する。

ここでは全体的なヒアリングの強化を狙いとし、比較的長い文章もこなせるようにする。定型化された dis-

course（講演）の学習が主体となる。

- ③ 製作教材の「慣用句」と平行して、学習する生教材は、NHKラジオ番組の「時の話題」である。ここでは日→中の逐次通訳を練習する。
- ④ 製作教材の「ニュースの表現」と平行して、学習する生教材は、③と同様、NHKラジオ番組の「時の話題」である。ここでは日→中及び中→日の逐次通訳の練習と、原語の「時の話題」を中国語にまとめたものをさらに日本語に訳す練習を行う。日→中、中→日の相互に通訳する過程での関連性や用語の訳し方の技術を習得することを目的とする。

系統 1

製作教材

(テープ1~4本)

外来語

- | | |
|-------------------------|--------------|
| ● 経済・産業用語 | ↔ 反対語 |
| ◆ 職業・労働用語 | ⇨ 和語の言い換えが可能 |
| * 原語と用法が異なるもの | = 略語 |
| # 語源が異なるものもしくは派生的な用法のもの | |

一. 熟語

- # 1. イメージアップ (image up) ↔ イメージダウン
→ 相次いで事故を起こした航空会社は、信用回復のためにあの手この手のイメージアップを図っています。
2. ギブアップ (give up) ⇨ 降参する
→ 水泳の100m予選で足の故障をおして出た彼は、必死の頑張りにもかかわらず、80mのところで、足の痛みに耐えきれず、とうとうギブアップしてしまいました。
- # 3. クローズアップ (close up)
→ 離婚が増える中で、あらためて家族のあり方がクローズアップされてきています。
- 4. タイアップ (tie up)
→ わが社は今度のプロジェクトにおいて、技術面でA社とタイアップすることになりました。
5. バックアップ (back up)
→ 今年の市長選挙で、彼はB代議士のバックアップの下で、当選を果たしました。
- ◆ 6. ベースアップ (base up) = ベア
→ 今年のベースアップは2%どまりでした。
7. リストアップ (list up) ⇨ 書き出す

→明日旅行のために買い出しに出掛けるので、必要なものをリストアップしておきましょう。

8. トップダウン (top down)

→従来のトップダウン式経営では下の社員はやる気をなくしてしまうため、社員自らの意見を吸収するボトムアップ方式が見直されています。

9. ペースダウン (pace down)

→この工事は半年後に完了するはずでしたが、途中思わぬことでペースダウンし、完成は2か月延びることになりました。

10. アットホーム (at home) ⇨家庭的

→うちの会社は従業員が15人と規模は小さいものの、アットホームな雰囲気が入っています。

11. オンタイム (on time) ⇨時間通り

→大きな地震がありましたが、列車はオンタイムで運行しています。

12. シャットアウト (shut out) ⇨締め出す

→政府の閣僚会議は、マスコミをシャットアウトして、極秘の中で行われました。

13. ハウツー (how to)

→最近の読書傾向として、従来のハウツーものから純文学への移行が挙げられます。

二. 複合語

14. アフターケア (after care)

→退院したとはいえ、アフターケアが悪いと、病気は再発するかもしれませんよ。

→家電製品の無料アフターケアは1年間だけである。

◆15. エリートコース (elite course)

→A君は東大卒、大蔵省入りのエリートコースをまっしぐらに進んでいる。

16. キーワード (key word)

→今、世界平和のキーワードは核廃絶である。

17. ケースバイケース (case by case)

→一律の料金は設けておらず、ケースバイケースでその都度、料金を設定します。

18. スケープゴート (scape goat)

→彼はこの事件のスケープゴートにされた。

19. ステップバイステップ (step by step)

→研究という仕事はすぐに成果が表れるものではなく、長い時間をかけて、ステップバイステップで行われるものです。

20. タイムスリップ (time slip)

→この映画を見ていると、まるで幼少の頃にタイムスリップしたような感じになった。

◆21. デスクワーク (desk work)

→営業といってもアシスタントなので、内容はほとんどデスクワークです。

22. テストケース (test case) ⇨試験的試み

→わが社で初めて女性課長が誕生したが、一部ではテストケースとしてとらえられている。

●23. トップマネジメント (top management)

→彼は次期、押しも押されもしないトップマネジメントです。

24. ニューフェース (new face) ⇨新顔

→彼はうちの会社のニューフェースだ。

25. ノーコメント (no comment)
→記者のするどい質問に対し、大臣はノーコメントを通した。
- # 26. ノータッチ (no touch)
→この事件に関しては、私は全くノータッチです。
私に意見を聞かれても答えようがありません。
27. ハイピッチ (high pitch)
→オリンピックを目前に、市内の道路の補修やビルの建設工事がハイピッチで進められた。
- # 28. バトンタッチ (baton touch) ⇨引き継ぐ
→課長が本社に転勤することになり、仕事が私にバトンタッチされた。
- # 29. プラスマイナス (plus minus) ⇨差引
→この製品のコストは100万円、売値も100万円ですから、プラスマイナス「ゼロ」ということになりますね。
- 30. プリペイドカード (prepaid card)
→テレホンカードは、現金先払い方式のプリペイドカードの1種だ。
31. フルタイム (full time) ⇨パートタイム
→子供がまだ小さいので、私はフルタイムの仕事は無理です。
- # 32. ベビーホテル (baby hotel)
→公立の託児所が依然不足しているため、いわゆるベビーホテルがあちこちにお目見えしました。
- 33. ベンチャービジネス (venture business)
→彼は2年前独自の経営方式によるベンチャービジネスを起こし、今ではその業界でかなりのシェアを占めるまでに成長しました。

- # ● 34. マネーゲーム (money game)
→世の中はとにかくマネーゲーム、お金優先の時代です。
- # 35. メインスタッフ (main staff)
→彼はこの研究プロジェクトのメインスタッフです。
36. メンタルヘルス (mental health) ⇨精神衛生
→ストレスの多い国では、メンタルヘルスに対する関心度も高まっている。
37. Uターン (U turn)
→お盆の前後は故郷に帰省する人のUターンで道路が混みます。
- # 38. ワンパターン (one pattern)
→彼の作品はいつもワンパターンで新鮮味がない。
- # ● 39. ワンマン (one man)
→あの会社は社長のワンマン体制で有名です。

三. その他

[ア]

40. アイディア (idea)
→アイディアを凝らした商品こそ、ヒット商品につながります。
41. アカデミック (academic)
→サークルとはいえ、会員は学者を中心に構成されているため、アカデミックな雰囲気があります。
42. アクセス (access) ⇨交通手段
* →関西国際空港から大阪方面へのアクセスは十分に整っています。
43. アセスメント (assessment)
→石油コンビナート基地の建設にあたり、環境アセスメン